



小松市立安宅中学校 学校だより

智仁勇

令和8年2月 NO.10

小松市立安宅中学校

校長 山本 幸世

大人への一歩 立志の集い ～なりたい自分になるために～

2月7日（土）安宅校下青少年健全育成協議会様の主催により、本校多目的ルームにて「安宅校下立志のつどい」が行われ、2年生が出席しました。小松市教育委員会より教育委員教育長職務代理の中惣様を始め、たくさんのご来賓の方々に来校いただき、お祝いの言葉を頂きました。

立志の決意発表では4名の代表者が発表しました。歯科衛生士や裁判官、白バイ隊員など明確な将来の夢であったり、または将来のために今がんばっていることであったり、自分の考えを堂々と立派な態度で話してくれました。この立志の集いは大人への自覚を深めるきっかけとなる大切な儀式。ハレの日を祝って下さった安宅校下青少年健全育成協議会の皆様、本当にありがとうございました。



English Excellence Award 2025

2月10日（火）市庁舎にて English Excellence Award 2025（英語賞）の授賞式が行われました。これは小松市内の中学校3年生、義務教育学校9年生において、英語検定2級以上取得者に英語賞、準2級および準2級プラス取得者に奨励賞を授与するというものです。学習と部活動を両立させながら検定にも挑戦するのはかなり強い精神力を必要としますが、本校からは2名が表彰されました。授賞式での2人の表情は、見事やり遂げた充実感に溢れていました。これから社会に出ていく中で英語力がもたらす影響力はかなり大きいと思います。高校生になっても、さらに自分の力を高めていってくださいね。受賞、おめでとうございます！



未来の仲間たち、待ってるよ！ ～中学校説明会～

2月17日（火）には、お向かいの安宅小学校を訪れて、6年生の皆さんを対象に2年リーダー会選抜チームによる中学校説明会を実施しました。あいにく、どちらの学校もインフルエンザが流行していた為マスク着用で行いましたが、小さい頃からよく知っている間柄なので、違和感なく溶け込んでいました。とはいえ、やはり中学生。大きく成長したお兄さんやお姉さんを目の前にして最初はうぶん緊張していた小学生も、中学生のリードで少しずつほぐれ、後半には質問が飛び交っていました。最後の方で「小学校の間に身につけておいた方がよいことや、やっておいた方がよいことは何ですか？」という質問がありましたが、皆さんは何だと思えますか？遊んでおくこと？宿題をきちんとする習慣？コミュニケーション力？いろんなことが想像できますね。それぞれの人に得意なことと苦手なことがあって、いろいろ意見は分かれると思いますが、やはりまずは「自分のことは自分です！（自己決定）」ではないでしょうか。児童から生徒と呼ばれるようになる、一番大きな違いです。皆さんは当たり前のようにしているので気が付かないかもしれませんが。先輩の皆さん、できてますよね？



今年度最後の生徒総会 ～ 今年の振り返りと来年に向けて ～

2月20日（金）には令和7年度最後の生徒総会を行いました。前週からインフルエンザが猛威を振るっており、当日は1年1組が2度目の学級閉鎖になっていたことから、やむなくオンラインで行いました。3年生と共に活動できる貴重な時間であり、できれば講堂で一堂に会して行いたかったのですが、3年生の入試直前ということもあり、全校生徒の体調管理を優先しました。

生徒総会とは、皆さんがこの安宅中学校をよりよくしていく為に話し合い、意思決定をする大切な場です。その為に、生徒議会を行い、クラス討議を経て、皆さんの意見が反映される形で行われているのです。自分たち一人一人が学校を運営していく自覚を深め、自治活動を高めていく、そんな意味合いがあります。執行部や委員長から後期の活動報告がありましたが、公約に掲げ実行してきた熱い思いが感じられました。自分の役割をきちんと果たせた様子や、そのことによって感じた達成感、または逆にできなかった事を自覚し認める誠実さが溢れていました。各学年代表からもそれぞれの学年リーダー会での取り組み報告や振り返りがあり、そして来年度に向けての抱負が発表されました。3年生が全校生徒をけん引し、今年一年で築いてくれた財産を次に繋ぎ、また新しい安宅中の歴史を創っていきましょう。3年生の皆さん、お疲れさまでした。

